



平成21年3月期 決算説明資料

平成21年6月5日

トーイン株式会社

JASDAQ

証券コード：7923

平成21年3月期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当事業年度の業績については、包装資材事業は、消費者心理の冷え込みが進行する中、国内では7月に大阪営業所を開設し、また海外では8月にタイ国にトーインタイランド株式会社を設立し、営業体制の充実強化及び受注拡大を図るとともに積極的な企画提案型の営業活動を展開してまいりましたが、パッケージ部門の一部の分野の売上は増加したものの、ラベル等を含めた包装資材事業の売上高は前事業年度比0.3%減の8,644百万円となりました。精密塗工事業は、新規客先及び新規分野の需要先の開拓など積極的な営業活動を展開したことにより、年初から増収基調で推移しておりましたが、秋口以降の世界経済の急激な減速及び円高の進行などにより、輸出関連産業のエレクトロニクス分野の大手需要先の受注が急激かつ大幅に落ち込み、売上高は前事業年度比18.0%減の1,393百万円となりました。その他事業は、野田工場の受託包装や販促品の商品販売が回復してきたことなどにより、売上高は前事業年度比23.5%増の814百万円となりました。

この結果、平成21年3月期の全体の売上高は、前事業年度比1.6%減の10,852百万円となりました。

利益面については、包装資材事業は、原材料価格の上昇に対する適正価格への改定が徐々に浸透し、また取引条件の改善が進んだこと、生産効率及び品質の向上により製造コストを引き下げたことなどにより、収益構造の改善が徐々に進展してまいりましたが、主要なパッケージ部門及びラベル部門の売上高が低迷した影響を受けました。精密塗工事業は、生産及び品質管理体制の充実により、生産効率の向上と高品質製品の安定供給を継続してきたものの、大手需要先の海外事業売上低迷の影響を受けて売上高が大幅に減少したことにより、減益となりました。その他事業は、野田工場の受託包装の売上が回復してきたものの、小ロット受託品への対応などにより生産効率の改善が低調だったことにより、十分な利益体質に転換するまでには至りませんでした。

この結果、営業利益は前事業年度比73百万円増の43百万円、経常利益は前事業年度比64百万円増の1百万円となりました。当期純損益については、秋口以降の国内経済の急激な減速によるお客様の販売戦略の見直し等に伴い、資産内容の健全化を図るため、一部の棚卸資産の廃棄を行い、棚卸資産廃棄損97百万円を計上したことにより、前事業年度比70百万円減の54百万円の損失となりました。

<当期のトピックス>

平成20年7月 関西、京阪神地区の事業拡張に伴い、大阪営業所を開設する。

《大阪営業所の概要》

営業所名 トーイン株式会社 大阪営業所
所在地 大阪府大阪市北区堂島2-1-27
桜橋千代田ビル8F
連絡先 TEL 06-6136-4351
FAX 06-6136-4363



平成20年8月 東南アジアにおける受注活動の拠点として、当社子会社 TOIN (THAILAND) CO., LTD. (トーインタイランド) を設立する。

《トーインタイランドの概要》

会社名 TOIN (THAILAND) CO., LTD.
所在地 タイ国 バンコク
代表者 甫坂 健
(当社 取締役 新規事業統括部門長
(兼) 海外事業本部長)
資本金 1,250万バーツ
(日本円換算 約40百万円)
出資比率 80%
事業内容 包装資材等の輸出入及び販売



平成21年2月 関連会社 Printing Solution Co., Ltd. (P S C社) の増資を引き受け、出資比率を30%とする。

《P S C社の概要》

会社名 Printing Solution Co., Ltd.
所在地 タイ国 バンコク
資本金 7,200万バーツ
出資比率 30%
事業内容 紙器、樹脂パッケージの製造販売

平成21年3月期 損益計算書

(単位：百万円)

	当事業年度 (H21/3)		前事業年度 (H20/3)		対前年比	備 考
		%		%		
売 上 高	10,852	100.0	11,025	100.0	△172	精密塗工の売上減少
売 上 原 価	9,348	86.1	9,686	87.9	△337	適正価格への改定、製造コスト引き下げなど
売 上 総 利 益	1,504	13.9	1,339	12.1	164	
販売費及び一般管理費	1,460	13.5	1,368	12.4	91	
営業利益又は損失(△)	43	0.4	△29	△0.3	73	
営 業 外 収 益	38	0.4	36	0.3	1	
営 業 外 費 用	80	0.7	70	0.6	10	為替差損22百万円
経常利益又は損失(△)	1	0.0	△63	△0.6	64	
特 別 利 益	72	0.7	85	0.8	△13	固定資産売却益、受取補償金など
特 別 損 失	116	1.1	8	0.1	107	棚卸資産廃棄損など
税引前当期純利益 又は 純損失(△)	△42	△0.4	13	0.1	△56	
法人税等	11	0.1	△2	0.0	13	
当期純利益 又は 純損失(△)	△54	△0.5	16	0.1	△70	

平成21年3月期 貸借対照表

(単位：百万円)

	当事業年度 (H21/3)		前事業年度 (H20/3)		対前年比	備 考
流動資産	6,686	% 45.3	6,761	% 44.8	△75	現金及び預金の増加、たな卸資産の減少
固定資産	8,066	54.7	8,328	55.2	△ 262	
有形固定資産	6,397	43.4	6,763	44.8	△ 365	減価償却の進行
無形固定資産	85	0.6	41	0.3	43	ソフトウェアの増加
投資その他の資産	1,583	10.7	1,524	10.1	59	関係会社への投融資、投資有価証券の評価額の減少
《資産合計》	14,752	100.0	15,090	100.0	△ 337	
流動負債	3,892	26.4	3,897	25.8	△ 4	
固定負債	2,239	15.2	2,201	14.6	38	
《負債合計》	6,132	41.6	6,099	40.4	33	
株主資本	8,695	58.9	8,819	58.4	△ 124	
資本金	2,244	15.2	2,244	14.9	—	
資本剰余金	2,901	19.7	2,901	19.2	0	
利益剰余金	4,005	27.2	4,129	27.4	△ 124	配当金の支払、当期純損失の計上
自己株式	△ 456	△ 3.1	△ 456	△ 3.0	0	
評価・換算差額等	△75	△0.5	171	1.1	△ 246	その他有価証券評価差額金の減少
《純資産合計》	8,620	58.4	8,991	59.6	△ 370	
《負債 純資産合計》	14,752	100.0	15,090	100.0	△ 337	

平成21年3月期 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

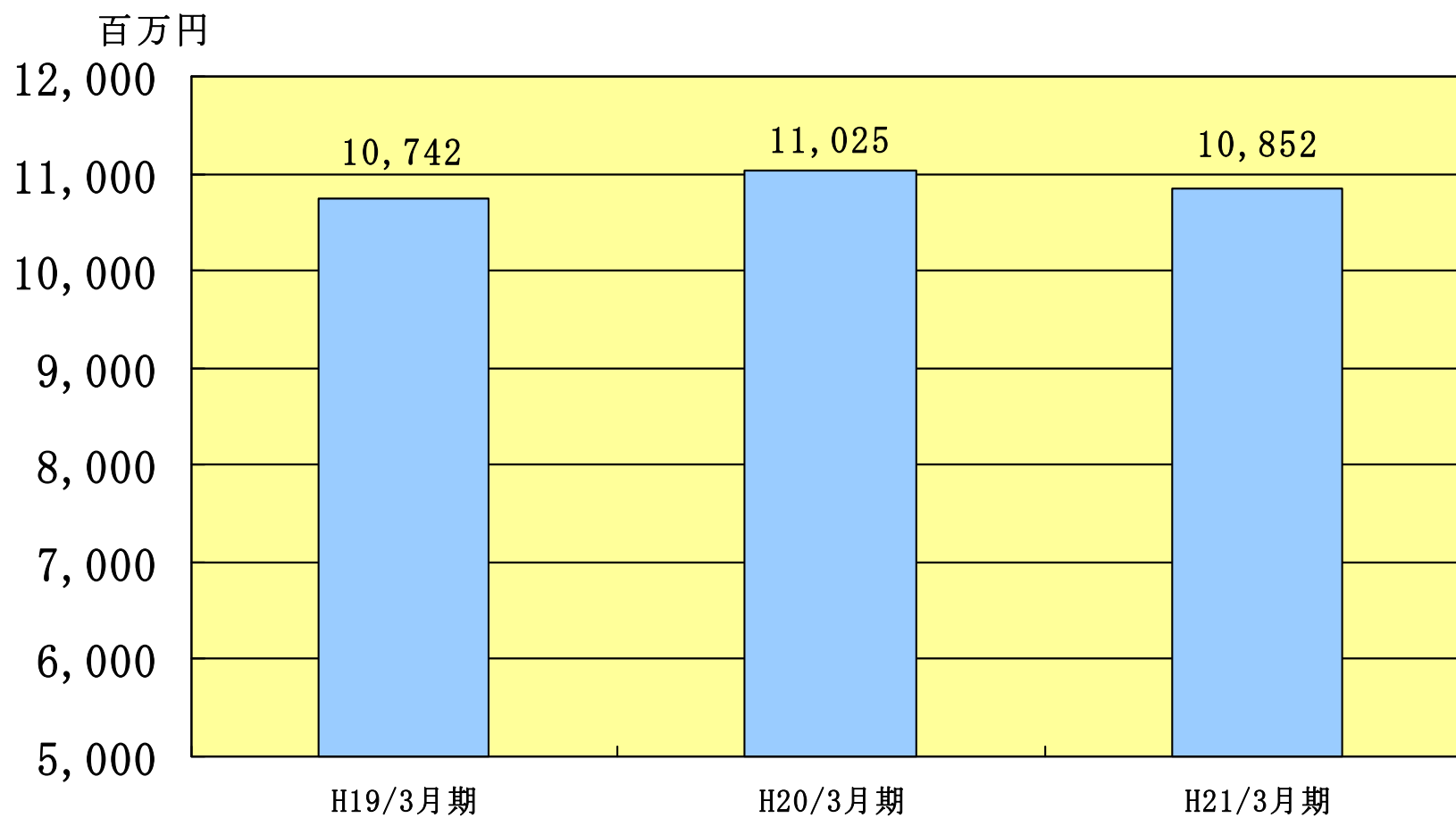
	株 主 資 本								評価・ 換算 差額等 合計	純資産 合計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利益剰余金			計	自 己 株 式	計		
			利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金						
				任 意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金					
H20年3月31日 残高	2,244	2,901	369	3,432	327	4,129	△456	8,819	171	8,991
当事業年度中の変動額										
固定資産圧縮積立金取崩				△43	43	—		—		—
剰余金の配当					△69	△69		△69		△69
当期純損失					△54	△54		△54		△54
自己株式の取得							△0	△0		△0
自己株式の処分		0					0	0		0
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額									△246	△246
当事業年度中の変動額合計	—	0	—	△43	△80	△124	0	△124	△246	△370
H21年3月31日 残高	2,244	2,901	369	3,389	247	4,005	△456	8,695	△75	8,620

キャッシュ・フロー計算書

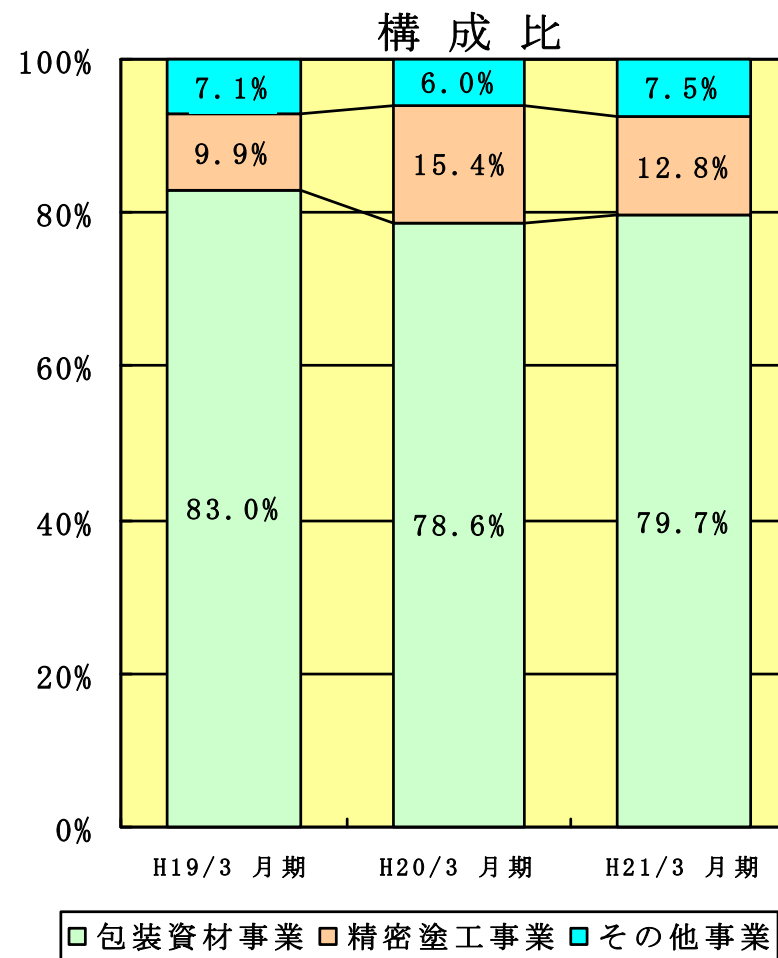
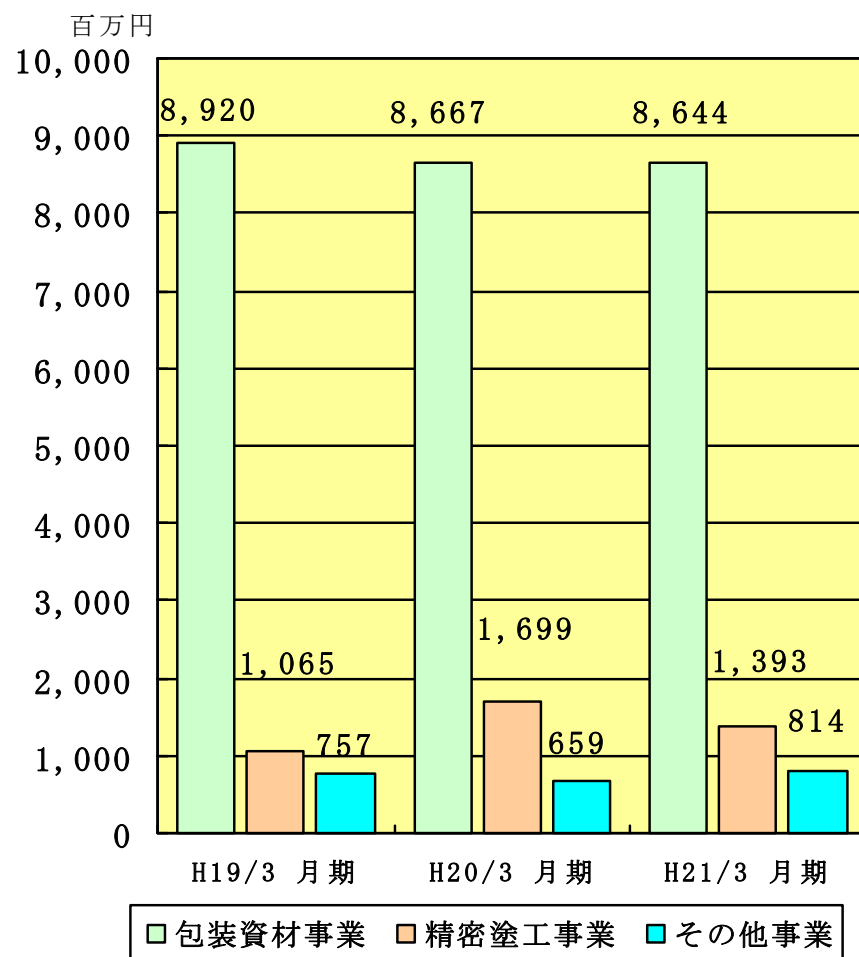
(単位：百万円)

	当事業年度 (H21/3)	前事業年度 (H20/3)	備 考
営業活動による キャッシュ・フロー	796	722	減価償却費 753百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△614	△80	投資有価証券の取得による支出 238百万円 関連会社貸付による支出 197百万円 有形固定資産取得による支出 155百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△5	△231	借入金の純増額 89百万円 配当金の支払額 69百万円
現金及び現金同等物 の増減額	177	409	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,271	1,861	
現金及び現金同等物 の期末残高	2,448	2,271	

売上高の推移

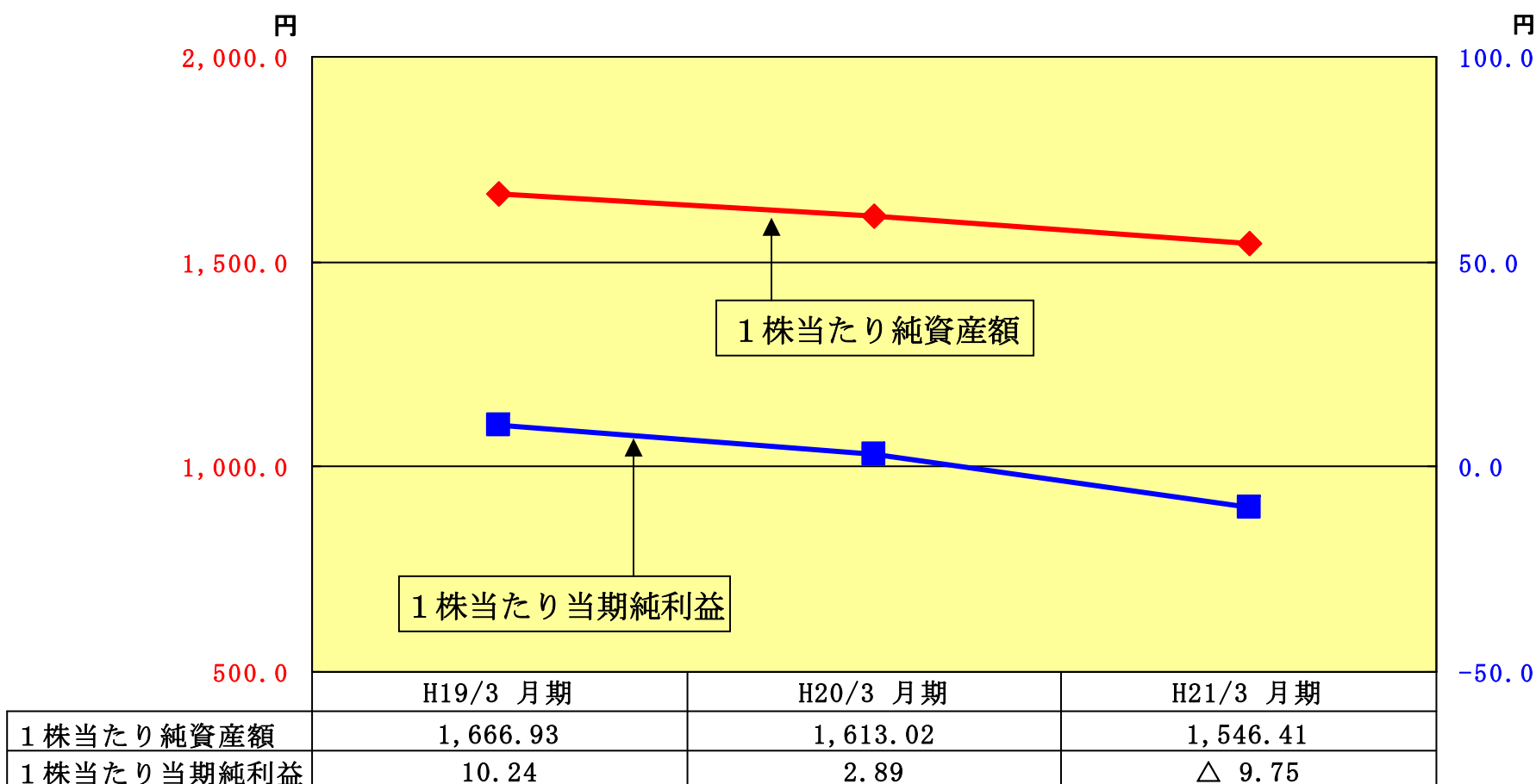


事業別 売上高

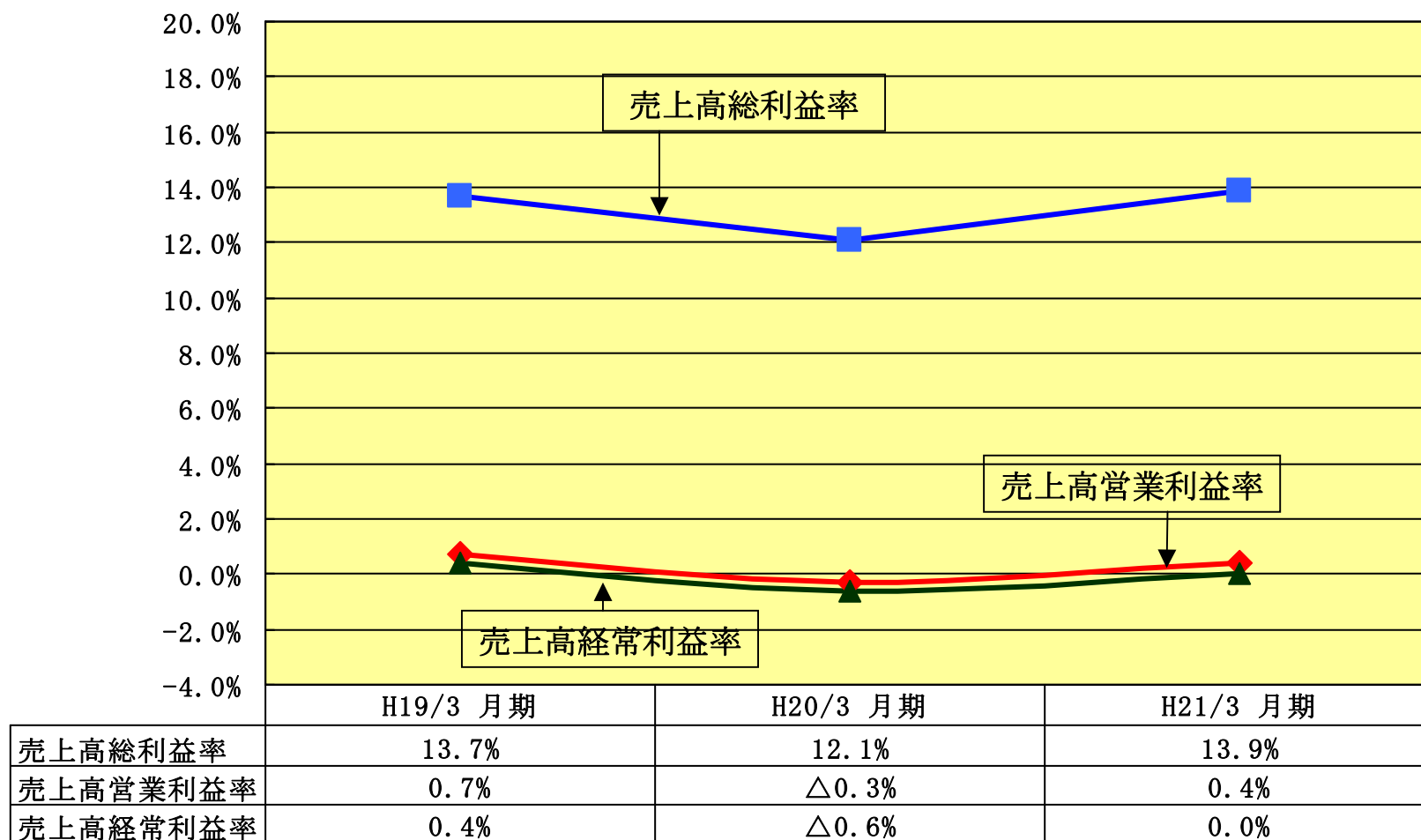


經營指標

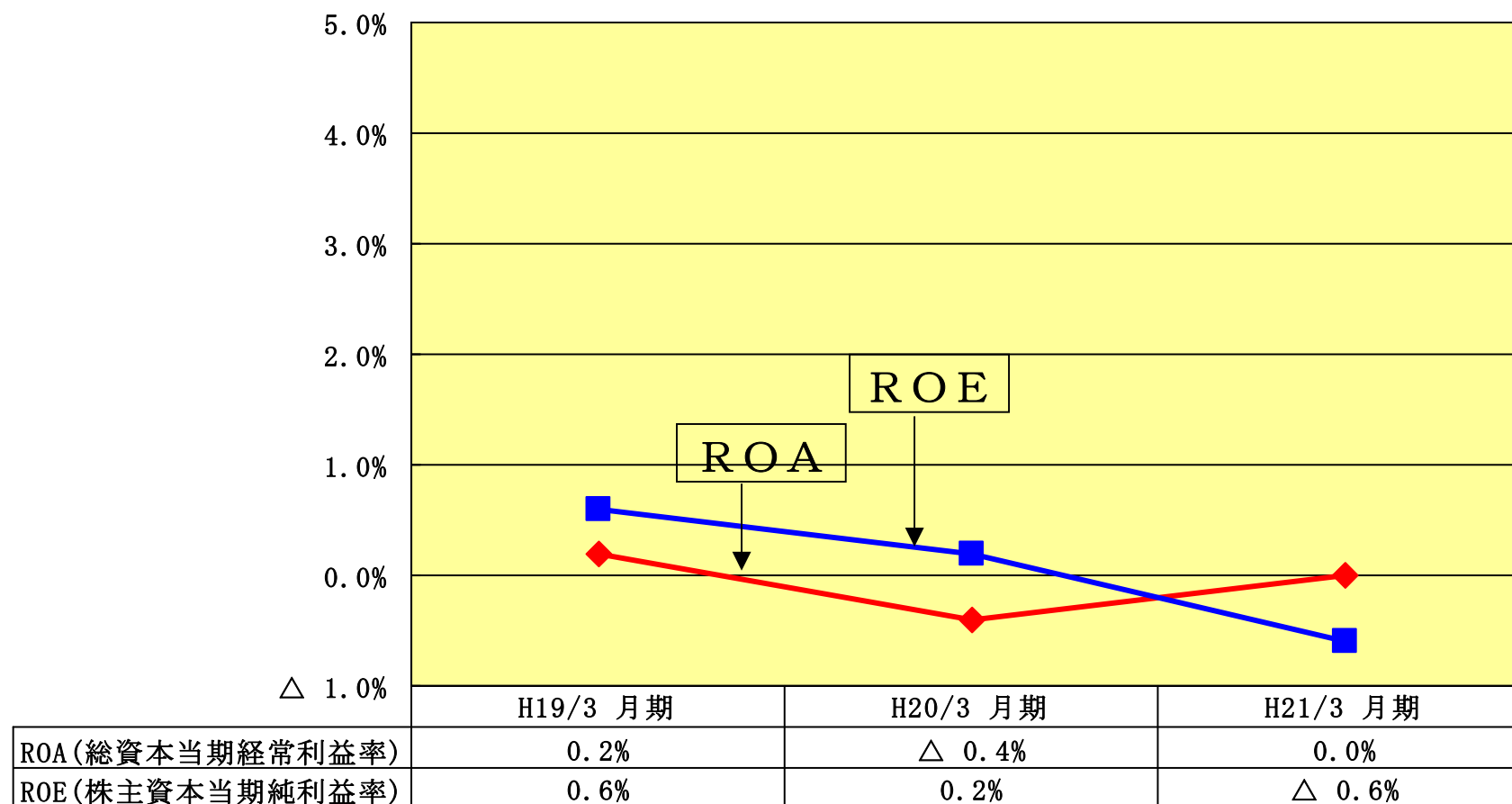
経営指標 I



経営指標Ⅱ



経営指標Ⅲ



平成22年3月期 業績予想

平成22年3月期の業績予想について

今後のわが国の経済の見通しについては、国際的な金融危機の収束及び世界経済の回復時期が不透明であり、これにより日本経済を牽引してきた輸出産業を中心とした国内企業の業績低迷が長期化することで国内の実体経済への深刻な影響が懸念され、また、原油・素材価格や為替相場の動向など先行き不透明な要素もあり、依然として厳しい経済状況が続くことが予測されます。また、包装資材業界においては、企業業績の低迷による雇用・所得環境の悪化及び社会保障制度に対する将来不安などにより、個人消費の動向は低価格志向が一段と強まることが見込まれるなど、引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような中、包装資材事業については、生活消費材価格の下落傾向及び市場の低迷に伴い売上が漸減基調にあるパッケージ部門及びラベル部門について、企画提案型の営業活動の展開による既存客先の深耕及び新規客先の積極的な開拓に注力するとともに、エリア戦略として関西地区における新規客先の開拓及び東南アジアの日系企業との関係構築・強化による事業拡大にも努めてまいります。また、トイintaiランド株式会社及び海外関係会社との連携により、製品及び原材料のグローバル調達及び販売を推進するとともに、生産面においては、引き続きフレキシブルな生産シフト体制の編成及び多能工化による人員の流動化を図るなど生産効率の向上と品質向上に関する諸施策を実行・徹底し、収益基盤の強化に努めてまいります。

精密塗工事業については、エレクトロニクス分野の大手需要先の業績低迷が当面は続くことが予想されるため、マーケティングを重視した営業活動を展開し、新規客先及び新規分野の需要先の開拓を推進することで、成長性のある有望市場の受注拡大と景気や経済動向にあまり影響を受けない安定性のある受注の獲得とにより、早期の業績回復に努めてまいります。

その他事業については、営業面で特に医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可に関する新規需要先の開拓及び大型品の受注に努めるとともに、製造面においては稼働体制の見直しを含めた生産効率の改善及び引き続き徹底した衛生・品質・安全保証体制の向上を図ってまいります。

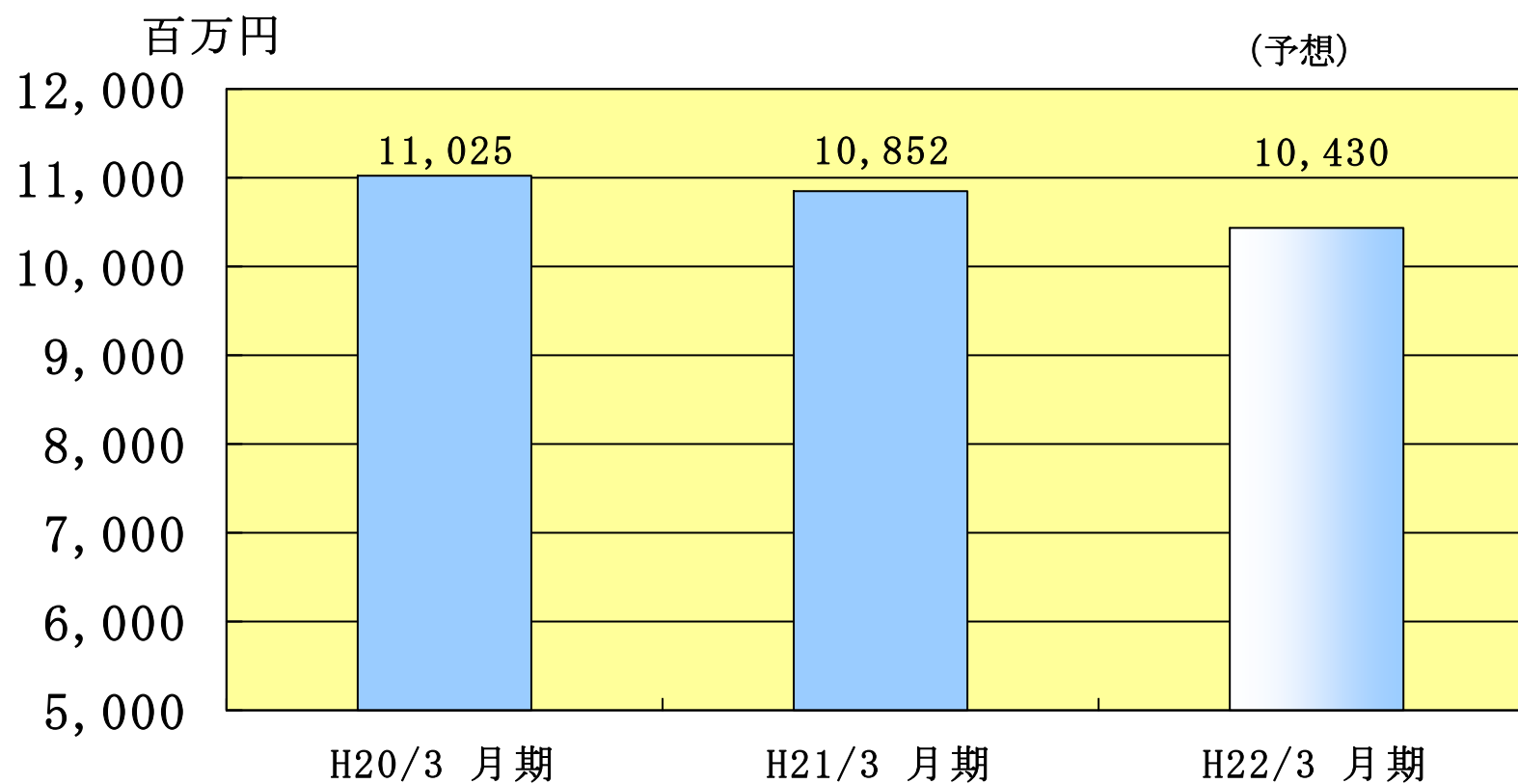
この結果、次期の業績見通しは、売上高10,430百万円、営業利益230百万円、経常利益200百万円、当期純利益100百万円を見込んでおります。

平成22年3月期の業績予想

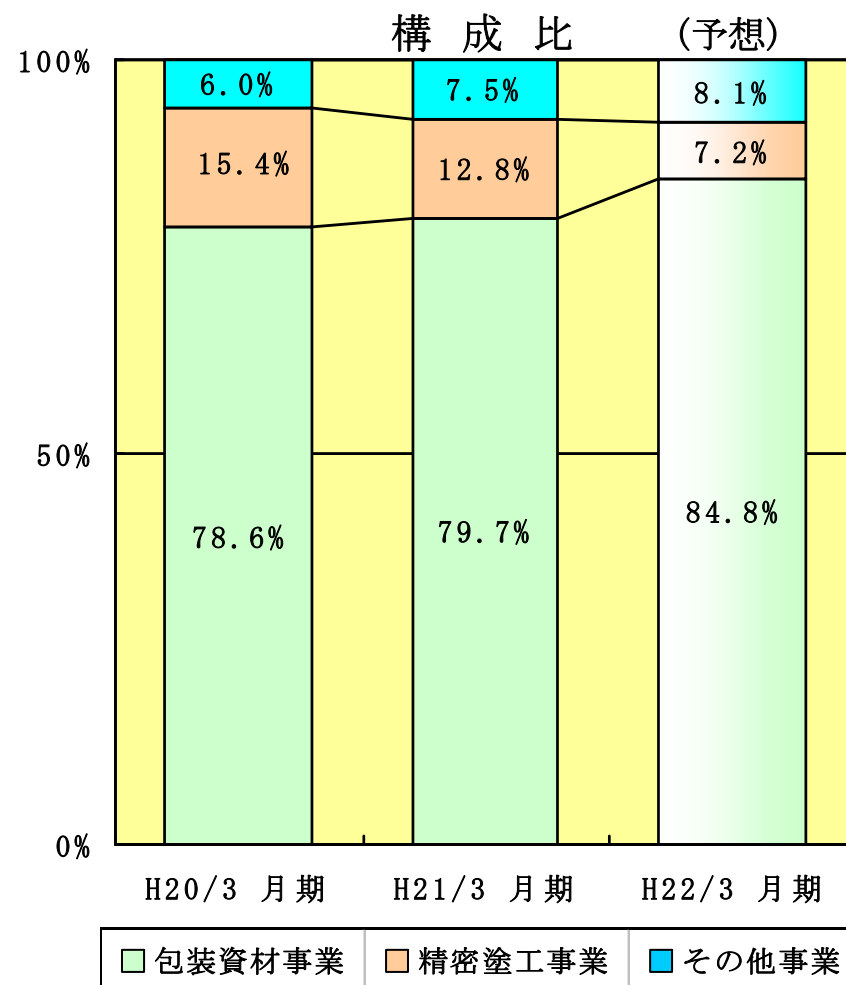
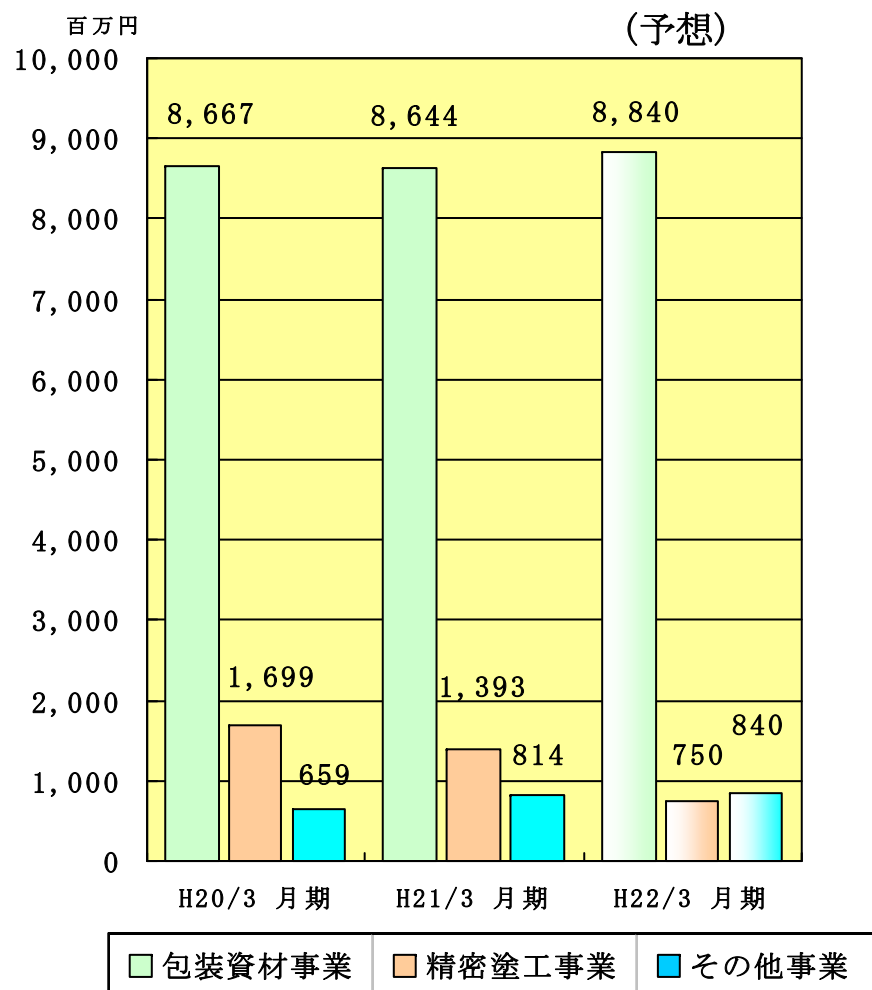
(単位：百万円)

	上期(予想)		下期(予想)		通期(予想)	
		%		%		%
売上高	5,130	100.0	5,300	100.0	10,430	100.0
営業利益	40	0.8	190	3.6	230	2.2
経常利益	30	0.6	170	3.2	200	1.9
当期純利益	0	0.0	100	1.9	100	1.0

通期売上高



事業別 売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- | | |
|-----------|----------------|
| ・ お客様に学べ | それが社会への貢献につながる |
| ・ 技術革新に挑め | それが会社の発展につながる |
| ・ 夢と利益を追え | それが皆の幸福につながる |

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーイン株式会社

《事業所》

●本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1

TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

●東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2

TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

●野田工場

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5

TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

●大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27

TEL : 06-6136-4351(代) FAX : 06-6136-4363

《子会社》

●TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーインタイランド)

タイ国バンコク

《関連会社》

●Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)

タイ国バンコク

○ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL : 03-5627-9111 FAX : 03-3638-1131